三陸沿岸道路
(仮称)気仙沼湾横断橋

小々汐だより

平成30年6月発行
第18号

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
工事の現況などについてお知らせいたします。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL：0226-25-5661　FAX：0226-24-3341

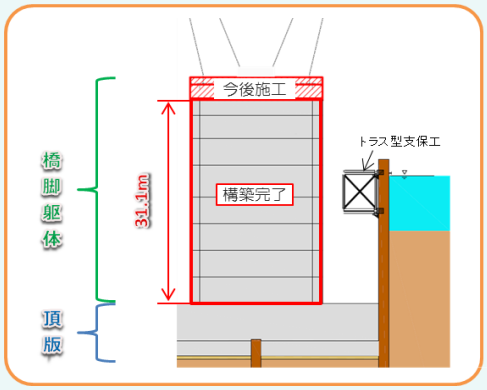
工事現況

橋脚コンクリート（8リフト）を打設しました（全9リフト）

2018年6月2日に『橋脚』8リフトのコンクリートを打設しました（全9リフト）。橋脚は頂版から31.1mの高さまで構築を完了しており、有名な法隆寺の五重塔（31.5m）とほぼ同じ高さの構造物が立ち上がったことになります。今後は9リフトの構築作業を進め、7月上旬には橋脚のコンクリート打設が完了する予定です。その後、橋脚を囲う足場解体が始まり、7月下旬には橋脚が皆さんの前に姿を現しますので、是非ご期待ください。

また、Ａ２橋台ではゴールデンウィーク明けから橋台を支える深礎杭の施工を開始しております（コラム参照）。

世界最高品質の橋脚・橋台を目指して今後も安全に施工を進めて参ります。引き続き、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



断面図

①工事全景（Ａ２橋台より望む）

②コンクリート打設状況

③鉄筋組立状況

コラム

「深礎（しんそ）」ってなんだ！？

Ａ２橋台では5月より深礎杭の施工に着手しております。『深礎』と聞くと、皆さんにはあまりなじみのない言葉かもしれませんが、とても歴史のある工法ですので今回ご紹介します。

深礎杭は『場所打ち杭』と呼ばれている杭基礎形式の一つです。既製の鋼管を機械で打込む杭打ちとは違い、深礎杭は現場でコンクリートを打ちこんで杭をつくっていきます。

施工は次の順序で進みます。まず、人力や機械で地中の掘削を進めていきます。掘削時には鋼製のプレートを円形に取付けて壁の崩落を防ぎます。掘削が完了したら、孔内部で鉄筋を組立てます。最後にコンクリートを打設して杭をつくり上げていきます。

メリットは、杭打ちと違い、無振動・無公害であることです。また、人力で掘削するので狭い場所でも施工が可能であり、構造物を支える地盤（＝支持層）を実際に確認しながら施工を進めることができます。

写真のように狭く深い空間の作業となるので、皆さんの目に触れる機会は少ないですが、作業員さんたちが見えないところで頑張ってくれています！！

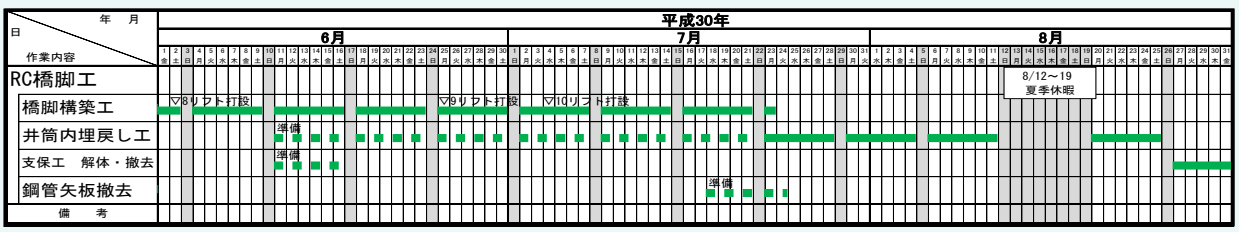
①作業全景

②掘削状況

③掘削状況

④坑内現況

工事予定



現場HP更新！

クールでおもしろい仕事
おもしろ物語@工事現場